



野田小だより

学校教育目標

活力にあふれた学校

●がんばる子

●やさしい子

●学びつづける子



よろしくお願ひいたします

平成29年4月10日

校長 小林 達哉

昨年度までは、教頭として野田小でお世話になっておりましたが、三澤仁生 前校長先生の後を継ぎ、校長に任命されました小林達哉です。現任校での昇任は珍しいことではありますが、慣れ親しんだ地域で、校長として仕事ができることに無上の喜びを感じております。今年度もよろしくお願ひいたします。

春爛漫の中、学校の桜、チューリップ、パンジー、ビオラ、バーベナが美しく咲きほこり、花々が子どもたちを迎える準備が整いましたよ、と言っている声が聞こえてくるようです。

そんな中、野田小学校の児童は1年生32名、2年生33名、3年生31名、4年生24名、5年生28名、6年生31名、すぎのこ学級1名の合計180名、教職員は25名で、新たな平成29年度のスタートを切りました。

さて、昨年まで学校教育目標は、このたよりの右上に ○がんばる子 ○やさしい子 ○学びつづける子 とありましたが、今年度より、その頭に「活力にあふれた学校」と言う言葉を付け足しました。

「活力」とは、辞書によると、「活動の源泉としての生命力」とあり、さらに「生命力」とは、「生物の苦しみや困難に耐え、生き続けようとする力」とあります。

学校で勉強したり遊んだり活動したりする時に、苦しいことやつらいことがあっても、元気よく動き出そうとするエネルギーに満ちた子どもたちがいて、その子どもたちが、○がんばる子 ○やさしい子 ○学びつづける子 に育って欲しい、と言う願ひを込めて、これを学校教育目標としました。

しかし、「活力にあふれた」と言うと、元気がある子、活発な子、積極的な子が素晴らしい、と誤解されがちですが、全ての子がそういう性格になることはあり得ません。おとなしい子、はにかみやの子、消極的な子も、目立たないけれども、内に秘めた力をその子なりに蓄え、自分のよさを生かして今後の社会を生き抜いてほしい、と言う願ひも強く込めた目標でもあります。

平成29年度、教職員も一丸となって「あふれる笑顔 光る汗」を体現する子どもたちの育成のために、全力で取り組んでまいります。また、「地域は学校 大人はみな教師」をモットーに、地域や保護者の皆様との連携をさらに深めて教育活動に取り組みますので、今後も変わらぬご理解とご協力をお願ひいたします。



校内で咲きほこる花々

